

今日も「ー」あがり♪

第8話

廃番トラクターの部品在庫切れの
ミッションギヤを製作せよ！の巻

皆さん、こんにちは！ 幸楽苑の味噌野菜ラーメンにマジでハマって、週3で通っているロボストス高垣でございます。リーズナブルに野菜を食べることができるのは、カッチト野菜工場のおかげです（笑）。

最新テクノロジーの恩恵

さて、今月の小話はこのネタにしましょう。弊社もすっかり会社っぽくなり、通常業務のほかに財務から労務まで考えることが多くなりました。そのストレスをどう軽減するか真剣に考えております。そこで導入したのが、「Apple Watch」。僕の行動を徹底的に見直してみれば、「スマホが鳴る」↓「ポケットからスマホを取り出す」という動作を1日何十回もくり返しているんですよ（汗）。そういう小さな無駄の積み重ねが僕自身の集中力を奪っているわけです。Apple Watchを腕に付けていると、チラ見するだけで、急ぎで対応すべき内容か判断できるよう

になりました。これはすごくありがたい変化です。ついでにコンビニのレジでも腕でピッとご精算。もはやそこでもスマホを出さなくなりましたし、ましてや財布から小銭を探す行為に戻ることはできません。余談ですが、中国の深圳では露店ですらスマホ決済が普通だそうですよ。何が言いたいかというと、積極的に最新テクノロジーを取り入れて、それでも不便だと感じるくらいでないと時代に取残されてしまうということ。農家さんは広大な土地の管理が求められる時代になるわけで、仕事のやり方を変えられた人だけが続けていけると思うんです。ディーラーさんもメーカーさんも、考え方をガラリと変える時代ですよ。日常のちょっとした手間を「ショートカット」する癖をつけて、貴重な時間を新しい仕事を生みだすために使わないといけません。弊社は手間のかかる単品特注対応を商売にしています。儲からない仕事です。でもこ



高垣達郎（たかがき・たつろう）
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株式会社ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株式会社ロボストス代表取締役社長。

昨日の不便にさようなら！

今回のトラクターのミッションギヤの製作依頼は、福岡県の仲良しディーラーT中さんからです。クボタGL221は廃番品で、部品も在庫なし。ということで、サクッとギヤを作ってみましょうか。以前マニアスプレッターのスプラインシャフトを紹介しましたが、工程を覚えていきますか？ そのおさらいです！



写真1：歯切り工程前のブランク（旋盤加工後）



写真2：歯切り・焼入れ・研磨、と加工を進めてギヤ完成



写真3：パッチリ仕上がったミッションギヤ

【今回の工程は「コチン」】
① 材料を購入する
② 旋盤でブランクを仕上げる
③ ホブ盤で歯を切る
④ 熱処理を施し、硬度を上げる
⑤ 研磨して1/1000mm台で仕上げる
お決まりの流れでサクサクと完成〜♪ 年季の入ったトラクターもこれで元気に復活しそうです♪
僕たちはモノを見たら「どういう工程で作るか」を瞬時に考えます。読者の皆さんにも、是非そうやって欲しい。そして電動工具を持って、何か作ってみて欲しい。ものづくり慣れれば、例えばオリジナルの作業台くらい簡単に作れちゃいますから。机一つで作業効率が段違いに変わることありますからね。まさに僕も日曜の昼下がり、ドリル片手にオフィスを改造しながらこの原稿を書いています（笑）。昨日の不便にさようなら！ ということで、今日も一丁あがり〜♪